

会 議 録

1 会議名

平成 24 年度 直江津港湾協会 通常総会

2 開催日時

平成 24 年 5 月 31 日 (木) 午後 3 時～4 時

3 開催場所

ホテルハイマート 2 階「鳳凰」

4 出席者

会員 206 名中 90 名出席 (委任状 100 名)

顧問・参与 24 名、事務局ほか 12 名 合計 126 名

5 経過概要

(1) あいさつ 村山会長

(2) 来賓祝辞 新潟県知事 様 (代理：稲荷港湾振興課長)
北陸信越運輸局長 様 (代理：佐伯海事部長)
第九管区海上保安本部長 様(代理：渡邊総務部長)

(3) 来賓紹介

(4) 祝電披露

(5) 議長選出 上越市議会議長 瀧澤 逸男 様

(6) 議 事 第 1 号議案 平成 23 年度事業報告について・・・原案のとおり承認
第 2 号議案 平成 23 年度収支決算報告について・・・原案のとおり承認
(会計監査報告) 荻野監査委員により報告
第 3 号議案 役員選任(案)について・・・・・・・原案のとおり承認
第 4 号議案 平成 24 年度活動方針(案)について・・・原案のとおり承認
第 5 号議案 平成 24 年度収支予算(案)について・・・原案のとおり承認

(7) 質 疑

<質問>(有)宮崎看板店 宮崎代表取締役：新潟港が民間委託されるという新聞記事を見たが直江津港はそのような動きがあるのか情報を聞かせてもらいたい。

<回答>村山会長：整備そのものが民間のものではないので民間に委託する難しさ、現状をどのように変えていくか具体化というのは研究の要素があると考えている。

稲荷県港湾振興課長：新潟港の民営化の目的は対船社交渉力の強化、荷主サービスの向上、運営効率化としている。

県では指定管理者制度を活用し管理費を支出し、ガントリークレーンなど施設利用料は入るようになっている。今回の港湾法の改正により、諸施設を新たな民営化さ

れた会社に長期間にわたり貸付けることにより料金は会社で設定できるようになった。価格交渉を含め利用する方のインセンティブを高め港の活用を図ることとしている。

直江津港は委託するだけの取扱貨物量が少ないため、今の段階では指定管理者制度への移行について具体的な検討はしていないのが現実。港の活性化を図る上では取扱貨物をいかに増やすことが重要なポイントだと思う。今後皆様のご努力、ご協力をいただく中で取扱貨物が増えてくれば指定管理者制度の活用や民営化という検討する段階がくるのではないかと思う。